TEAC

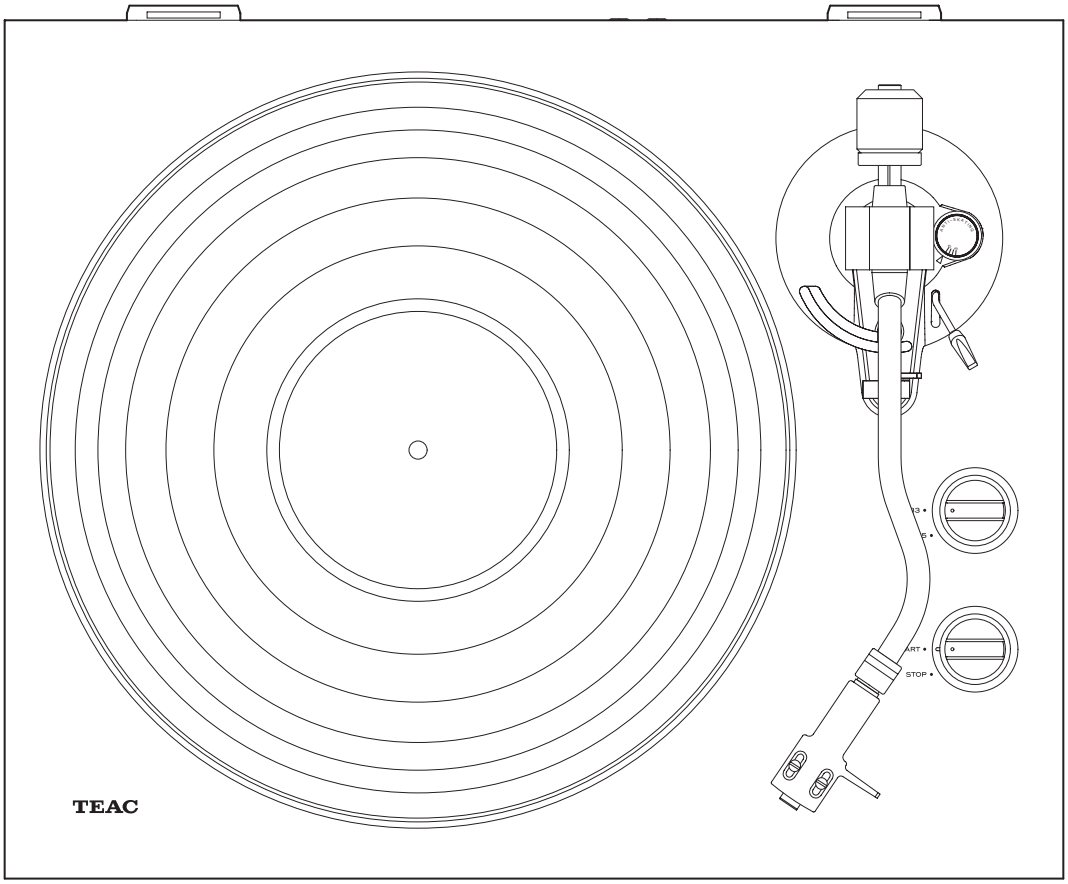
OPTN350TEA13

取扱説明書

TN-350-SE

アナログターンテーブル

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



目　次

安全にお使いいただくために 3
お使いになる前に 5
レコードの取り扱い 5
設置 6
ダストカバー 8
レコード針について 8
カートリッジ交換 9
各部の名称 9
接続 10
基本操作 11
困ったときは 12
仕様 13
保証とアフターサービス (よくお読みください) . . 15

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。



適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

⚠ **警告**	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** ● 煙が出たり、変なにおいや音がするときは ● 機器の内部に異物や水などが入ったときは ● この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) に修理をご依頼ください。
 禁止	**AC アダプターのコードを傷つけない** **AC アダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **AC アダプターのコードを無理に曲げる、ねじる、引っ張る等の行為や加工、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、AC アダプターのコードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) をご依頼ください。
	付属の AC アダプターを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧 (交流 100 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は 20cm 以上離して置く ラックなどに入れるときは、機器の天面から 35cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあけるすきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
 指示	**この機器の通風孔をふさがない** 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
 禁止	**AC アダプターの電源プラグにほこりをためない** AC アダプターの電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。定期的 (年 1 回くらい) に AC アダプターの電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために (続き)

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源をスタンバイにし、必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
 指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する** それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、AC アダプターの電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
 禁止	**この機器には、付属の AC アダプターを使用する** それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
 禁止	**AC アダプターの電源プラグを抜くときは、AC アダプターの電源コードを引っ張らない** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
 禁止	**濡れた手で AC アダプターの電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。


愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店、または弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) にご連絡ください。

ラバーシート x 1
ドーナツ盤用アダプター x 1
カウンターウエイト x 1
ヘッドシェル x 1
　オーディオテクニカ社製 VM 型 (デュアルマグネット) ステレオカートリッジ (AT100E 同等品) を装着済み
ターンテーブル (プラッター) x 1
ダストカバー x 1
ヒンジ x 2
RCA オーディオケーブル x 1
AC アダプター (GPE053A-120050-1) x 1
取扱説明書 (保証書付き)(本書) x 1

使用上の注意

- ダストカバーの上には物を置かないでください。特に再生中は、振動でノイズが発生したり、物が落下する恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

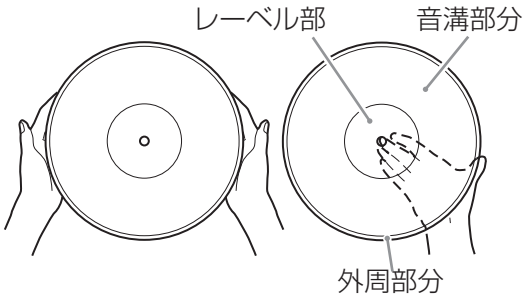
ユーザー登録について

TEAC のウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。
　https://teac.jp/jp/signup

レコードの取り扱い

レコードの持ち方

レコードを持つとき、レコードジャケットから取り出すときは、音溝部分に手を触れないように、レーベル部と外周部分を支えて持つか、両手でレコードの外周部分をはさむように持ってください。



お手入れ

- 指紋やほこりがつくと、雑音や音飛びの原因となり、レコードや針を傷めます。市販のレコードクリーナーなどでクリーニングしてください。レコードクリーナー以外のベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- レコードクリーナーを使用する場合は、音溝に沿って円を描くように拭き取ってください。



使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には置かないでください。長時間放置すると、そりやカビが生えるなどの原因となります。
- レコードは、何枚も積み重ねたり、重いものをのせたりしないでください。また、斜めにして長時間放置しないでください。そりや破損の原因となります。
- 音溝部は、硬いものに直接触れないようにしてください。傷の原因となります。
- 再生が終わったレコードは、必ずレコードジャケットに入れて保管してください。そのまま放置すると、そりやキズの原因となります。
- ヒビが入ったレコードは使用しないでください。

設置

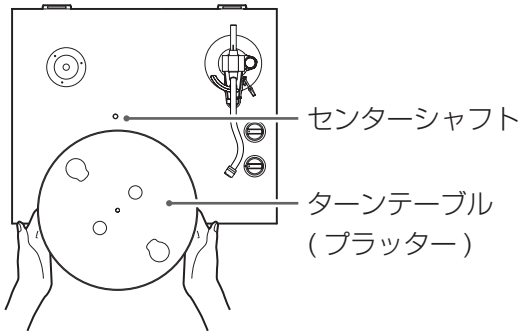
電源はスタンバイの状態で作業を行ってください。(10 ページ **D**)

1 **水平な場所に置く。**

レコードを正しくトレースするため、水平な場所に設置してください。

2 **ターンテーブル (プラッター) を取り付ける。**

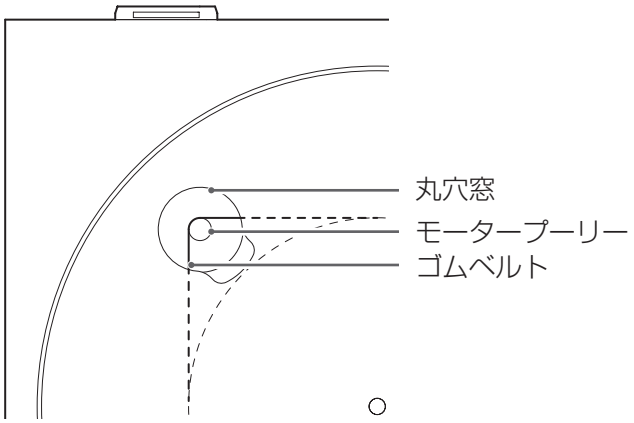
ターンテーブル (プラッター) をセンターシャフトに合わせて取り付けます。



3 **ベルトをモータープーリーにかける。**

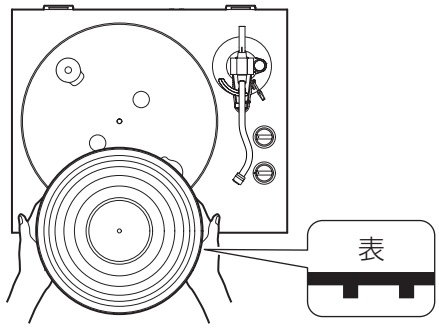
ターンテーブル (プラッター) の内周に巻きつけてあるゴムベルトを丸穴窓より指で引き出し、モータープーリーにベルトをかけます。

- ゴムがねじれないように注意してください。
- ターンテーブル (プラッター) を数回転して、ゴムベルトをなじませてください。



4 **ラバーシートをターンテーブル (プラッター) に載せる。**

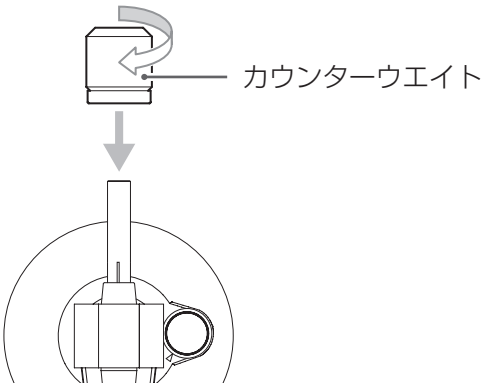
付属のラバーシートをターンテーブル (プラッター) に載せて使用してください。



- ラバーシートには裏表があります。上図のように同心円状に凸がある面を下にしてください。

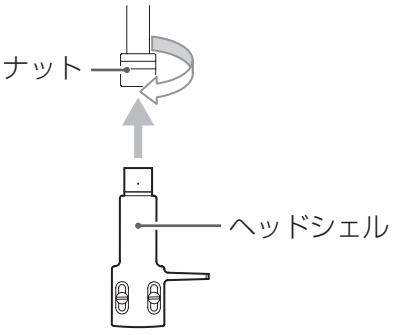
5 **カウンターウエイトを取り付ける。**

トーンアームの後部にカウンターウエイトを差込み、右に回しながらゆっくり押して装着してください。

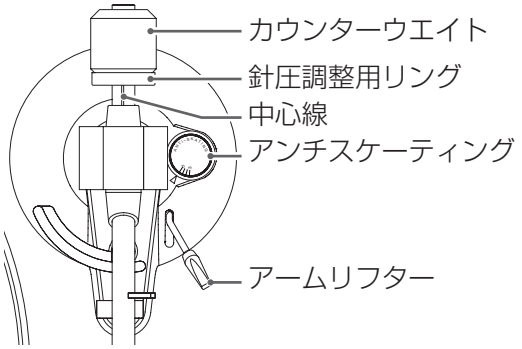


6 **ヘッドシェルを取り付ける。**

トーンアームの先端にヘッドシェルを差込み、ナットを回して固定してください。

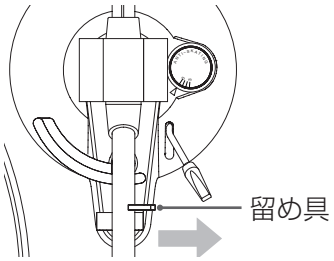


トーンアームのバランス、針圧の調整



1 **アンチスケーティングの目盛を 0 にセットする。**

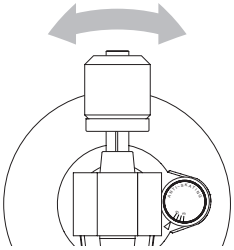
2 **トーンアームの留め具を右にずらして外す。**



3 **アームリフターを上げ、トーンアームを左に少しずらす。**

4 **アームリフターを下げる。**

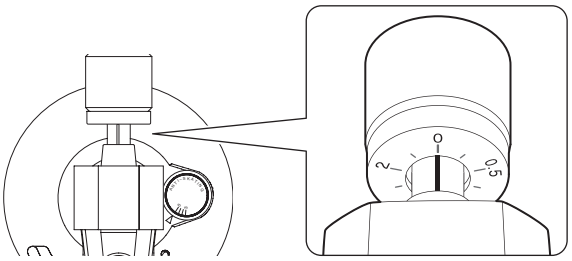
5 **カウンターウエイトを回して、トーンアームが水平になるように調節する。**



- カートリッジの針を痛めないようにプロテクターを下げた状態で調節してください。
- カートリッジの針が本機に当たらないように注意してください。

6 **トーンアームを元の位置に戻し、留め具を使ってトーンアームをロックする。**

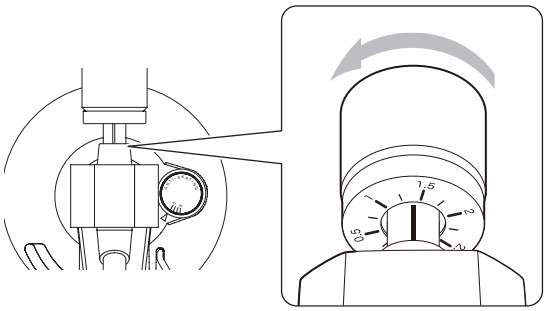
7 **針圧調整用リングを回して目盛の 0 を中心線に合わせる。**



- リング部のみを回します。カウンターウエイトが回らないように注意してください。

8 **針圧調整用リングの目盛がカートリッジ指定の針圧になるようにカウンターウエイトを回す。**

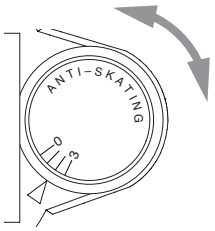
- 付属のカートリッジの針圧は 1.4g です。
  カウンターウエイトの目盛を 1.4 に合わせるように回転させます。



- 0→ 0.5 → 1.0 のように右方向に回します。

9 **アンチスケーティングの目盛を調節する。**

目安として目盛を 1.4 にセットし、レコードを再生 (11 ページ) して、左右の音量のバランスがとれた位置に調節してください。



ご注意

レコードの状態により、左右の音量バランスが崩れたり、音飛びが発生する場合があります。
その場合は、下記のように調整してください。

音がバックする (針が戻る) 場合

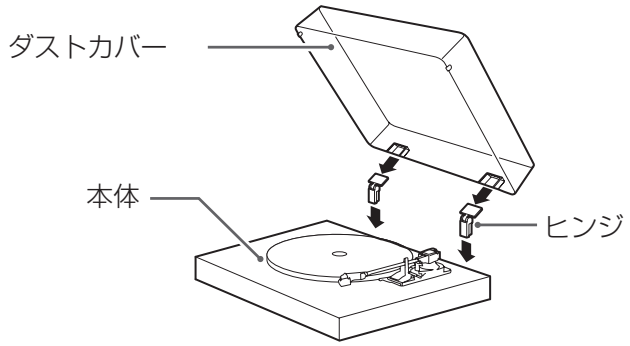
アンチスケーティングの目盛数値を若干小さくしてください。

音が先に進む (針が先飛びする) 場合

アンチスケーティングの目盛数値を若干大きくしてください。

ダストカバー

ダストカバーの取り付け



1 本体背面の左右両端にあるヒンジ差し込み部にヒンジを合わせて、奥まではめ込みます。

2 ヒンジの上部にダストカバーのヒンジ差し込み部を合わせ、はめ込みます。

- 再生中はダストカバーを閉めてください。不用意な接触による針飛びや、外来音圧から針先を守ります。
- レコードの再生中に開閉しないでください。針飛びなどの原因となります。
- ホコリがかぶらないように、通常は閉めてくだ さい。

ダストカバーの外し方

ダストカバーの両端を持ち、ゆっくり上へ引き、ヒンジごと本体から外します。さらにダストカバーからヒンジを外します。

ダストカバーの開閉

開くとき

ダストカバーの前端を持って、カバーが止まるまで軽く持ち上げて開きます。
ダストカバーは開いたままの状態になります。

閉めるとき

ダストカバーをゆっくりと下ろします。

⚠ **ダストカバーを開閉するときは、指などを挟まないようにご注意ください。**

レコード針について

- レコード針が曲がる（破損する）と、音溝を正確にトレースできなくなります。レコード盤を傷めたり、故障の原因にもなりますので、レコード針は丁寧に取扱ってください。
- レコード針のお手入れは、市販のレコード針専用クリーナーを必ずお使いください。レコード針専用クリーナー以外を使った場合、レコード針が破損する恐れがあります。

レコード針の交換

レコード針の針先が摩耗すると、音質が劣化するだけではなくレコード盤を傷める原因となります。再生時間 300 時間を目安に当社指定の交換針にお取替えください。

オーディオテクニカ社製交換針「ATN100E」または「VMN20EB」をお求めください。

- 本機に装着されているカートリッジは、オーディオテクニカ社製「AT100E」(VM型)と同等品です。(装着しているカートリッジの交換針本体色は緑色になります。オーディオテクニカのマークは付いていません。)
  ※VM 型は MM 型と同じ特性です。
- 交換方法は、交換針の取扱説明書に従って交換してください。

ご参考

本製品に付属するカートリッジに使用される交換針は、オーディオテクニカ社製「VM500 シリーズ」と互換性があります。「VMN20EB（ネイビー色)」、上位モデルである「VMN30EN（オレンジ色)」や「VMN40ML（レッド色)」等もお使いいただけます。詳しくはオーディオテクニカ社のページ（https://www.audio-technica.co.jp/atj/vm/jp/replacement/）をご覧ください。

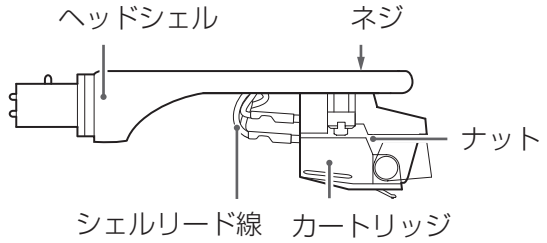
注意

- 突然大きな音が出ることがありますので、機器の電源を切ってから交換してください。
- 手や機器を傷付けないよう、ご注意ください。
- 小さなお子様があやまってレコード針を飲み込まないよう、ご注意ください。
- お客様の不注意や外部要因による針折れなどは、保証の対象外となりますのでご注意ください。

カートリッジ交換

カートリッジの交換は、ヘッドシェルをトーンアームから取り外して作業を行ってください。

- 本機に装着されているカートリッジは、オーディオテクニカ社製「AT100E」(VM 型) と同等品です。(装着しているカートリッジの交換針本体色は緑色になります。オーディオテクニカのマークは付いていません。)
  ※VM 型は MM 型と同じ特性です。
- カートリッジ針のプロテクターを下げて作業することをお勧めします。

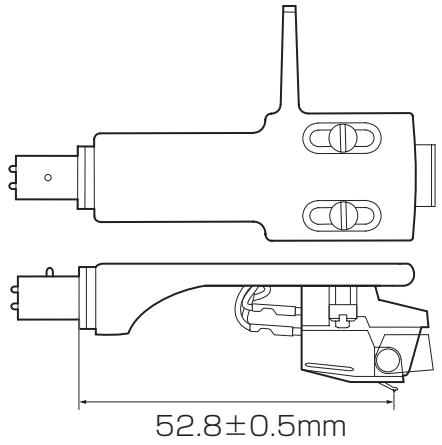


1 シェルリード線の端子をカートリッジから取り外す。

2 ネジを緩めてカートリッジを取り外す。

3 新しいカートリッジをネジを締めて取り付ける。

取り付け位置は、下図を参照してください。



4 シェルリード線の端子をカートリッジへ取り付ける。

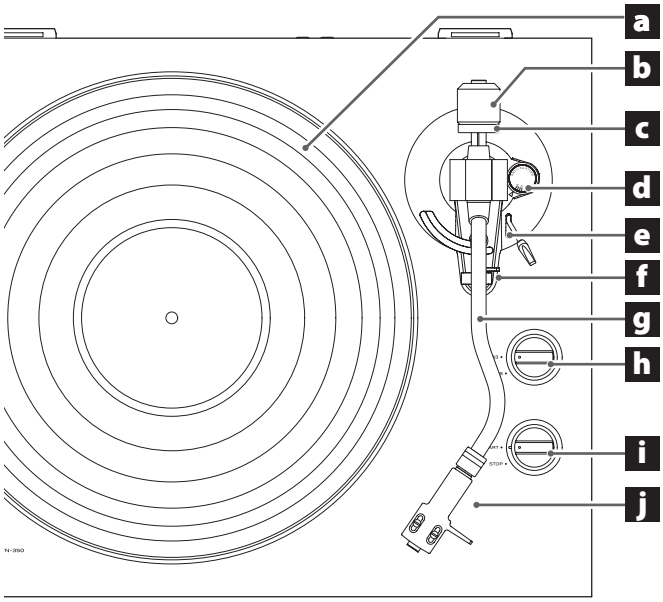
- シェルリード線の信号名と色は下図を参照してください。

信号名	色
左チャンネル ＋	白
左チャンネル －	青
右チャンネル ＋	赤
右チャンネル －	緑

5 トーンアームのバランス、針圧の調整を行う。

7 ページの「トーンアームのバランス、針圧の調整」の手順に従ってください。

各部の名称



a ターンテーブル (プラッター)

レコードをターンテーブル (プラッター) の中心にはめてください。

b カウンターウエイト

c 針圧調整用リング

d アンチスケーティングつまみ

e アームリフターレバー

レコード針の針先を上下に操作します。
指よりも安全かつ確実に操作できますので、レコード盤や針先を傷めないためにもアームリフターのご使用をお勧めします。

f トーンアームホルダー

トーンアームの支持台です。レコードを再生する前に、留め具を右にずらすようにしてはずしてください。

g トーンアーム

h 回転数切換つまみ

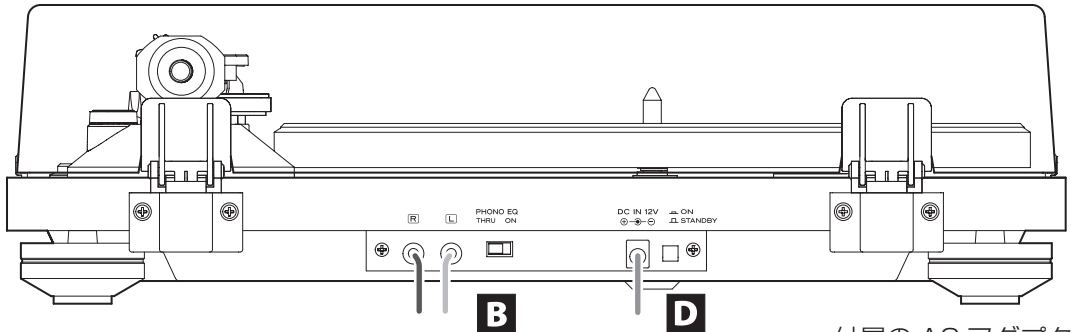
再生するレコード盤に指定されている回転数を選んでください。

i ターンテーブル (プラッター) 回転 START/STOP つまみ

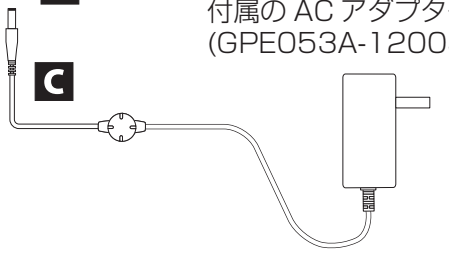
j ヘッドシェル

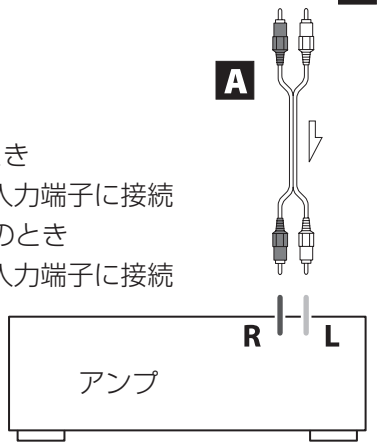
カートリッジ交換が容易なユニバーサルタイプです。

接続



付属の AC アダプター
(GPE053A-120050-1)





PHONO EQ : ON のとき
　アンプなどのライン入力端子に接続
PHONO EQ : THRU のとき
　アンプなどのフォノ入力端子に接続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

A アナログ音声出力端子 (L/R)

アナログの音声が出力されます。
PHONO EQ スイッチの設定で出力信号が切り換わります。
付属または市販のオーディオケーブルを使って、各機器と本機の出力端子を接続してください。

B 音声出力設定スイッチ (PHONO EQ)

ON

内蔵されたイコライザアンプで増幅された信号がアナログ音声出力端子 (L/R) から出力されます。

THRU

MC カートリッジまたは、MM カートリッジの信号を直接アナログ音声出力端子 (L/R) から出力します。
フォノイコライザーアンプや、フォノ入力端子付きアンプなど、フォノ入力がある機器に接続してお使いください。

- 出荷時は「ON」に設定されています。

注意

「ON」の状態で、アンプなどの PHONO 入力に接続すると、スピーカーやヘッドホンから大音量が出力され、機器が破損したり聴覚障害の原因となります。

C DC 入力端子

他の全ての接続が終わったら、付属の AC アダプター (GPE053A-120050-1) をこのジャックに接続してください。
次に、AC アダプターのプラグを交流 100V の電源コンセントに差し込んでください。

- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。
- 付属の AC アダプター (GPE053A-120050-1) 以外は使わないでください。

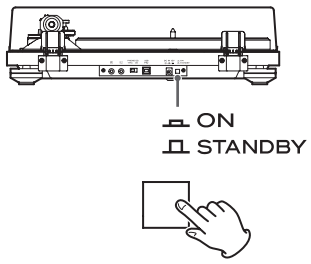
⚠ 交流 100 ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。
長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

D 電源ボタン (STANDBY/ON)

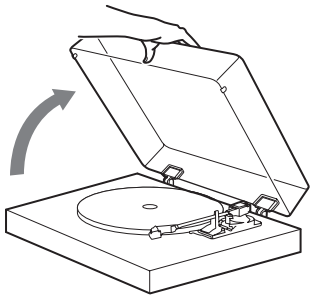
電源スタンバイと電源オンを切り換えます。

レコードを再生する

1 リアパネルの電源ボタン（STANDBY/ON）を押して、電源をオンにします。

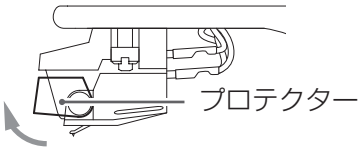


2 ゆっくりとダストカバーを開ける。

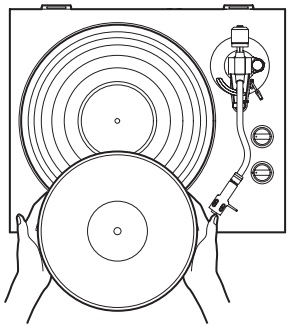


⚠ ダストカバーを開閉するときは、手などをはさまないようにご注意ください。

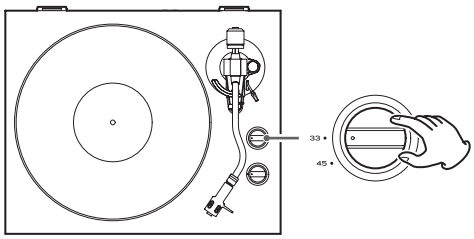
3 カートリッジのプロテクターを上に持ち上げる。



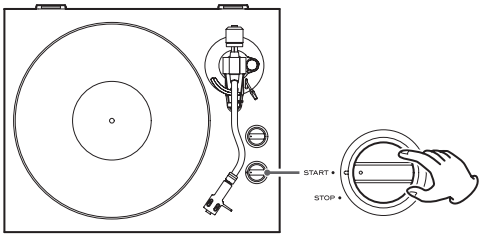
4 ターンテーブル (プラッター) にレコードをのせる。
ドーナツ (EP) 盤を再生する場合には、付属の EP アダプターをご使用ください。



5 レコード盤に指定されている回転数を選んでください。
回転数は 33 1/3、45 回転の 2 種類あります。

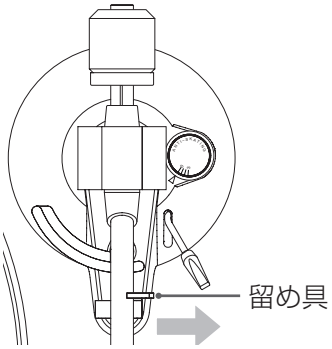


6 回転つまみを「START」の位置に回してターンテーブル (プラッター) を回転させる。

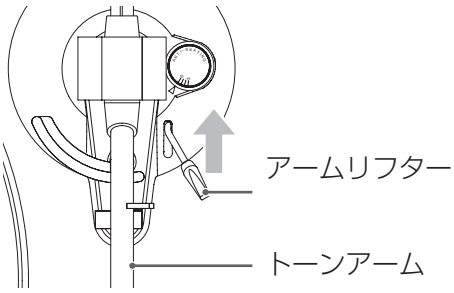


- 回転ツマミを「START」の位置にすると青色 LED が点灯してターンテーブル (プラッター) が回転します。

7 トーンアームの留め具を右にずらして外す。

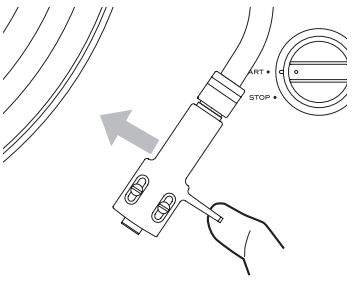


8 アームリフターを上げる。



- アームリフターを下げたまま、トーンアームを浮かせた状態でレコードの上に移動してから、トーンアームをゆっくりと下げて再生を始めることもできます。

9 再生したいところまでトーンアームを移動する。



10 アームリフターをさげる。
トーンアームがゆっくり下がり、針先がレコード盤におりて再生がはじまります。

次のページへ続きます。➡

基本操作 (続き)

- 再生中はダストカバーを閉めてください。不用意な接触による針飛びや、外部からの音圧を遮断するため、ノイズが起きにくくなります。

⚠ **ダストカバーの上には物を置かないでください。**

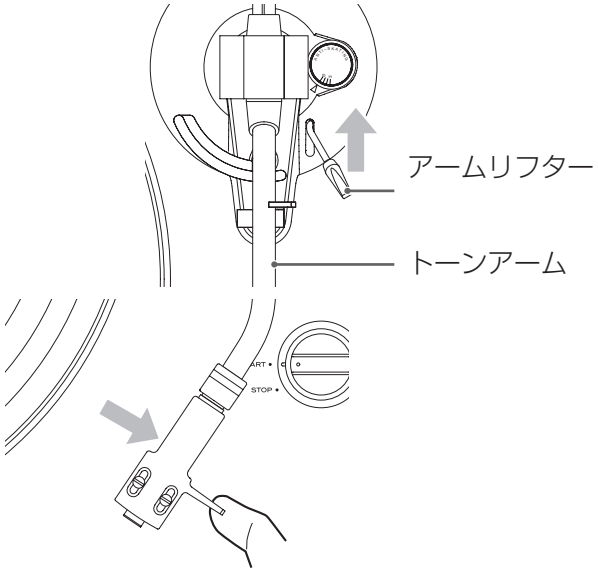
注意

- 再生中はトーンアームやレコード盤に触れないでください。針先の破損やレコード盤の損傷の原因となります。
- 再生中は無理にターンテーブル (プラッター) の回転を止めないでください。本製品は DJ タイプのターンテーブル（ダイレクトドライブ方式）ではありませんので、このような動作をすると故障の原因となります。

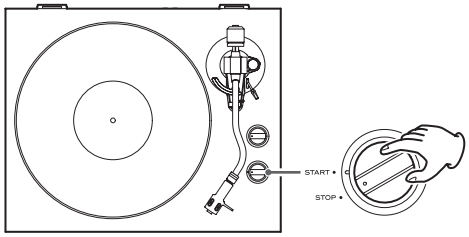
レコードの再生時に音を大きくしすぎると、ハウリングが起こることがあります。その場合は、アンプの音量を下げてください。

再生が終わったら

1 アームリフターを上げて針をレコード盤から離し、トーンアームを元の位置に戻してください。



2 回転つまみを「STOP」の位置に回して、ターンテーブル (プラッター) の回転を止める。



- 青色の START ランプが消えて、ターンテーブル (プラッター) が停止します。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、修理を依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられますので、接続した機器の使用方法も併せてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にご連絡ください。

電源が入らない

➡AC アダプターをコンセントに差し込んでください。電源ボタンを押して電源をオンにしてください。(10 ページ)

音がしない

➡本機のアナログ音声出力端子をアンプなどの音声入力端子に接続している場合、音声出力設定スイッチ (PHONO EQ) の設定を「ON」にして下さい。(10 ページ)

再生できない、雑音が入る

➡プロテクターを上に持ち上げてください。(11 ページ)

➡レコード針をクリーニングしてください。(8 ページ)

➡レコード針が摩耗していたら、交換してください。(8 ページ) 針の寿命は、使用環境にもよりますが約 300 時間です。

➡テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

レコード再生中にノイズが出る

➡カートリッジ指定の値よりも高い針圧の場合はノイズが 出やすくなります。指定の値になるように針圧の調整をやりなおしてください。(7 ページ)

音程がおかしい

➡レコード盤に指定されている回転数を選んでください。(11 ページ)

音飛びする

➡震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。

➡レコード盤の汚れをクリーニングしてください。

➡傷が付いたレコードは使わないでください。

➡トーンアームのバランスをとって、針圧を設定し直してください。(7 ページ)
カートリッジ指定の値よりも低い針圧の場合は音飛び (針飛び) しやすくなります。

仕様

ターンテーブル (プラッター) 部

駆動方式 . . . . . ベルトドライブ
モータ . . . . . DC モータ
回転数 33 1/3rpm, 45rpm
回転数偏差 . . . . . ±2%
ワウ・フラッター . . . . . 0.2% 以下
SN 比 . . . . 67dB (A-weighted、20KHz LPF) 以上
ターンテーブル (プラッター) . . . . アルミダイカスト
直径 30cm

トーンアーム部

アーム形式
スタティックバランス S 字型トーンアーム
実効アーム長 223mm
針圧可変範囲 . . . . . 0 ～ 5g
適用カートリッジ質量 . . . . . 4.0 ～ 8.0g

カートリッジ部

形式 . . . . . VM 型（MM 型と同等）
出力電圧 4.5mV (1kHz,5cm/sec)
針圧 . . . . . 1.4±0.4g
カートリッジ質量 . . . . . 6.5±0.2g
付属ヘッドシェル質量
10g (ネジ、ナット、ワイヤー含む)

- 針の寿命は、使用環境にもよりますが約 300 時間です。
- 本機に装着されているカートリッジは、オーディオテクニカ社製「AT100E」（VM 型）と同等品です。（装着しているカートリッジの交換針本体色は緑色になります。オーディオテクニカのマークは付いていません。）
  ※VM 型は MM 型と同じ特性です。
- レコード交換針型番：
  オーディオテクニカ社製
  ・ATN100E (推奨針圧 1.4g)（生産完了）
  ・VMN20EB (推奨針圧 2.0g)

ご注意

「VMN20EB」の推奨針圧は 2.0g です。針の交換後には針圧及びアンチスケーティングの調節を必ず行ってください。調整方法の詳細については本書 7 ページをご覧ください。

出力電圧

PHONO EQ THRU
4.5mV (1KHz,5cm/sec)
PHONO EQ ON . . . . . 230mV (− 13dBV)
出力端子 . . . . . RCA ジャック

一般

AC アダプター電源
入力 . . . . . AC 100V ～ AC 240V 50-60Hz
出力 . . . . . 12 V 500mA
消費電力
スタンバイ . . . . . 0.5W 以下
オン (START) . . . . . 1.5W 以下
質量 . . . . . 約 4.9kg
動作保証温度 . . . . . 5℃～35℃
外形寸法 (幅、高さ、奥行)
420 x 117 x 356 mm (突起部を含む)

- 性能データは、20℃で規定しています。

付属品

ラバーシート x 1
ドーナツ盤用アダプター x 1
カウンターウエイト x 1
ヘッドシェル x 1
オーディオテクニカ社製VM型(デュアルマグネット)
ステレオカートリッジ (AT100E 同等品) を装着済み
ターンテーブル (プラッター) x 1
ダストカバー x 1
ヒンジ x 2
RCA オーディオケーブル x 1
AC アダプター (GPE053A-120050-1) x 1
取扱説明書 (保証書付き)(本書) x 1

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

■保証書
取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は、お買い上げの際に販売店が所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。保証期間はお買い上げ日より 1 年です。

■補修用性能部品の保有期間
当社は、この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後 8 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は
修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門 (裏表紙に記載) にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは
12 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責についてはご容赦ください。

保証期間中は
修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み
技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他：製品を送るために必要な送料 / 梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容
型名：アナログターンテーブル
TN-350-SE
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況 (できるだけ詳しく)

■廃棄するときは
本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止
この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

保 証 書

品名および形名	アナログターンテーブル TN-350-SE
機番	
保証期間	本体　1年

お買上げ日	年　月　日	
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 電話　（　）

見本

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

販売店	所在地・名称（印） 電話　（　）

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
   無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) メンテナンス
   (7) 本書の提示がない場合
   (8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社　〒206-8530　東京都多摩市落合 1-47　https://teac.jp/jp

この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせ

AV お客様相談室 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

042-356-9235　携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-701　ナビダイヤル　固定電話をご利用の場合

FAX：042-356-9242

受付時間は、10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858

04-2901-1033　携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-501　ナビダイヤル　固定電話をご利用の場合

FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0622 MA-3361B